

を其裏に潜在せしめざる限り、放恣無頼なる本能主義と相去ること遠からず。其效果や、社會の秩序を紊りて、其解體を來し、究極身を亡ぼすに至るべきものなり。

然らば何をか婚姻の社會的意義と謂ふ。曰く

婚姻は性慾を満足せしめんがためになすものにあらず、生活の便宜を得んがために行ふものにあらず、即ち自己一身の利益のために企つべきものにあらずして、「社會」のため——少くとも究極の大義に於て——に結ぶところのもの、社會の理想實現のために行ふところのものなる理即ち是なり。而して何をか理想といふ。(此問題は、古來先哲の論及せし所、社會哲學上の大問題にして吾人の輕卒なる斷定を許さず。吾人亦猥りに是に觸るるを好まずと

雖も、論述の都合上、經驗論の立場より常識的論定を提示せん) 曰く、社會の階調と進歩、即ち社會成員相互の幸福、均衡、文化の創造、子孫の繁榮向上即ち是なり。

此目的は正しき婚姻を通じて後、始めて其完きを見る。故に婚姻の形式は社會の理想に適應する様度正せざるべからず。此を是れ婚姻の社會化と云ふなり。此立場より婚姻に際し初夜を觀る、是れ即ち初夜權の解放なり。

今や士の婚姻に際し、試嘗を祭司領主に捧ぐるを要せず、賠償を呈するに及ばず、初夜を抑制するの必要なし。唯夫れ沈思熟慮、以て婚姻の社會的意義を知り、其實現を期せざるべからず。是れ即ち婚姻の社會化して、初夜權の解放の意義亦實に茲にあり。

初夜權 (JUS PRIMAE NOCTIS の社會學的攻究) 終

大正十五年三月下旬印刷
大正十五年四月五日發行

定價金貳圓

◇ 初夜權 ◇
版權
所有

編纂兼
發行者

宮武 尚二
東京市本郷區駒込神明町三三四

印刷者

小國 直太郎
東京市本郷區駒込動坂町三一七

發兌 東京市下谷區上野櫻木町二三

無名出版社

電話下谷三七〇一番
振替東京六一三九九

著の骨外姓廢るく遊を論空し排を佻輕

私刑類纂

全一冊

和紙和裝
高尙美本

定價 金 參 圓

送料書
留廿錢

古今内外の刑罰外の刑罰を蒐集した稀代の奇書である。時事新聞評……内外の記録による慘酷な奇抜な實例を繪入にて説明せる所に興味を唆られる、慄然として汗を覺へる記事に國の文野が窺はれて、眞面目な意味での奇書」

賭博史

全一冊

和紙和裝
高尙美本

定價 金 參 圓

送料書
留廿錢

古來の文獻野乘に徴して射作的情民の惡戯法を蒐集すること二百餘、それに珍圖奇畫八十餘を加へた古今唯一の大著で、バクチの手引案内書といふやうなものでなく社會裏面史の一たる立派な學書である

川柳語彙

全一冊

和紙和裝
高尙美本

定價 貳圓五拾錢

送料書
留廿錢

江戸時代平民詩研究の經典である。古句の意義と含蓄味を知ると共に、當時の風俗人情言語等を觀察するには絶好の珍書である。又新川柳の作者たらんとする人々には非此古川柳諒解の知識が無くばならぬ。附録——川柳研究階梯

京東市野
二二町木櫻

堂 狂 半

京東市野
二二町木櫻

内容見本
無代進呈

著の骨外姓廢るく斥を同雷み忌を倣摸

日本擬人名辭書

全一冊

和紙和裝
高尙美本

定價 金 貳 圓

送料書
留廿錢

「逃避的遊戯の著にして、現代思想及實生活には何等の利益なき時代錯誤の愚著」といふも尙「予は予一個の見識にて……これも亦なかるべからざる典籍、我國民性研究の一資料、好古趣味の存するものとして敢て刊行す」(自序)

奇態流行史

全一冊

和紙和裝
高尙美本

定價 金 參 圓

送料書
留廿錢

上古以來大正現在までの間、變な事物のハヤリと目すべき奇態な流行事物に圖畫を挿入して、説明的批評的に記述したるもの、即ち一時的珍世相を歴叙したる不易的圖書にして、異常風俗記とも稱すべき稀代の珍書である

變態知識

全二冊

和紙和裝
高尙美本

定價 金 五 圓

送料書
留廿錢

元祿前後の頃より變態の韻文として行はれたる俳諧前句附、その埋没し居たる前句附及古川柳を渉獵して、江戸時代の言語風俗制度等の考證に引用せし新事業、眞に前人未發の創意、觀察奇抜の卓見として推賞されし雜誌の合綴

京東市野
二二町木櫻

堂 狂 半

京東市野
二二町木櫻

内容見本
無代進呈

著の骨外姓廢るれらせ稱と家筆隨

面白半分

全一冊 和紙和裝 定價 金貳圓 送料書留廿錢
 著者外骨は面白半分に生計半分の雜學者、其筆は面白半分に諷刺半分である、往年面白半分に知識を興ふる實益半分の奇抜隨筆を發行したが、それを繪入増訂の和裝本に改めたのである、これは面白半分に金儲半分の著述

一癖隨筆

全一冊 和紙和裝 定價 金貳圓 送料書留廿錢
 讀賣新聞評——相變らず外骨君の至妙な諧謔性はその編輯振にもアチ撒かれて天下一品の珍に出來上がつてゐる、奔流のやうな筆觸が浮世のあらを搔きながつて痛快淋漓だ、殊に「公娼私娼」の一篇は半狂堂主人得意の場面

此中にあり

第一篇 和紙和裝 定價 各貳圓 送料書留廿錢
 第二篇 高尙美本
 (第一篇)隨筆……涉書雜記、獄中奇談、報知舊聞、古珍書覆刻……九蓮品定、はうた一夕話、橋庵漫筆。等(第二篇)隨筆……涉書趣味、こんなもの、大翠丸の話。古珍書覆刻……古今物忘れ、陌婦傳。等

著の骨外姓廢るれらせ稱と士博學雜

震災畫報

全一冊 和紙和裝 定價 貳圓廿錢 送料書留廿錢
 有史以來の大慘害であつた關東大震災當時のキハモノ的續刊の慘害隨筆。江戸時代の震災記たる「安政見聞誌」等に比すべくもなき觀察の明敏、叙述の奇抜、眞に後世に傳ふべき記念の好著なりとの評判を博せり。合綴一冊とす

文明開化

叢書 和紙和裝 定價 各貳圓五拾錢 送料書留廿錢
 高尙美本
 明治維新過度期の文藝風俗宗教評論駭動科學裁判教育建白傳記法制雜誌等の研究叢書。既刊第一篇「新聞」は新聞二十種の第一號の複製、表紙も挿畫も悉く原本通り。第二篇「廣告」はチラシ報條類の珍奇なもの、蒐集

明治奇聞

全六冊 和紙和裝 定價 五圓五拾錢 送料書留廿錢
 高尙美本
 讀んで面白く、聽いて可笑い事、新舊轉換の混沌期に於ける奇談珍聞を集めて、皆様のおなぐさみに供したいと云ふ職業的著述家の希望から、例の挿繪澤山の趣味と實益をかけた著書、「文明開化」と共に明治文化の研究書

京東市野 二二町木櫻

堂 狂 半

振替 〇二四九三

内容見本 無代進呈

京東市野 二二町木櫻

堂 狂 半

振替 〇二四九三

内容見本 無代進呈

546
154

69-34
142-184

美

著の骨外姓廢者學究研褻猥稱自

賣春婦異名集

全一冊 和紙和裝 高尚美本 定價 金 參 圓 送料書留廿錢

古來の雅名、公娼の俗名、文壇の異稱、惡漢の隱語等五百語に説明を附し、風俗畫を添へ、常に好古趣味俗語趣味のみならず、大にしては國家の制度歴史文學の研究資料たるべく、小にしては行旅夜泊の便益たるを得べし

猥褻風俗史

全一冊 和紙和裝高尚美本 非賣品

自序……今日猥褻の事物と認むべきものにして、昔時法律上又は道德上何等の制裁なかりし事實を歴叙す……「辭氣を出して茲に鄙倍を遠ざく」眞君子亦披閱して可なり。既刊書六圓以上の購讀者に應需進呈

猥褻と科學

全一冊 和紙和裝高尚美本 非賣品

本書は常に虚偽の習慣を打破し愚蒙の形式を排除せんとする著者持論の結晶なり。緒言……予は猥褻研究學者なり……世に猥褻研究を卑陋なりとして擯斥廢如する者あり、予はこれに對し、辨明的、反抗的、啓蒙的に本書を著す

京東市野上
櫻木町二

半狂堂

振替東京
三九四〇

本見
呈代無

終

